

2018年9月21日

報道関係各位

東急不動産ホールディングス株式会社

## 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス」 構成銘柄に7年連続選定されました

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)はこのたび、ESG 投資の指標として世界的に認知度の高い「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス(DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄に選定されました。

DJSIは、米国のダウ・ジョーンズ(Dow Jones)社と、スイスのESGに関する調査専門会社であるRobeco SAM社が共同開発した株価指標で、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価し、総合的に優れた企業を選定するものです。DJSI Asia Pacificは日本をはじめオーストラリア、香港、韓国、シンガポールなどアジア・太平洋地域の企業を対象に評価・選定するもので、当社は、東急不動産株式会社として2012年から選定されており、2013年10月の東急不動産ホールディングス株式会社設立後も含めて、今回で通算7年連続の選定となりました。

近年、ESG投資が活性化する中で当社が連続選定されたことは、当社の経営課題への取組みに対して、将来にわたり持続的成長が期待できる企業として評価された結果と捉えています。また、当社グループは「中長期経営計画2017-2020」においても、ESGマネジメントの推進を掲げており、今後も持続的成長と長期的企業価値向上に取り組んでまいります

MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM

東急不動産ホールディングスのCSRについて

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/csr/>

統合報告書について

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/library/integratedreport/>

